



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月6日  
東

上場会社名 株式会社中山製鋼所 上場取引所  
コード番号 5408 URL <https://www.nakayama-steel.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 箱守 一昭  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長 (氏名) 阪口 光昭 (TEL) 06-6555-3035  
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	138,235	△2.2	9,498	△15.8	9,418	△15.7	6,522	△22.7
2023年3月期第3四半期	141,353	17.1	11,274	130.7	11,166	141.5	8,442	149.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 6,811百万円(△20.2%) 2023年3月期第3四半期 8,539百万円(146.7%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第3四半期	120.47	—	—	—
2023年3月期第3四半期	155.94	—	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	150,108	67.6	101,467	67.6	—	—
2023年3月期	148,787	65.1	96,859	65.1	—	—

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 101,467百万円 2023年3月期 96,859百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年3月期	—	33.00	—	22.00	—	55.00
2024年3月期	—	19.00	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	23.00	—	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	181,000	△4.0	11,700	△14.2	11,500	△14.0	7,700	△24.7	142.18	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	63,079,256株	2023年3月期	63,079,256株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	8,921,732株	2023年3月期	8,942,937株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	54,148,226株	2023年3月期3Q	54,136,536株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する内容は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件等につきましては、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進んだことにより企業収益や雇用環境が改善する中で、個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、ウクライナ情勢や中東情勢が深刻化するなど国際情勢が不安定な中で、原燃料価格の高止まりや円安の進行、物価上昇など、景気の先行き不透明感は強まっております。

当社グループの主力事業である鉄鋼業界におきましては、自動車向け需要は半導体など部品供給制約の緩和により回復しましたが、産業機械向けや建築向けの国内需要は弱含みで推移しました。

このような状況の中で、当社グループは、中期経営計画(2022年度～2024年度)の重点方針に沿って、グループ一体での加工分野の強化、鉄源多様化の促進や製造コストの削減に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,382億35百万円(前年同期比31億17百万円減)、営業利益94億98百万円(前年同期比17億75百万円の減益)、経常利益94億18百万円(前年同期比17億47百万円の減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益65億22百万円(前年同期比19億19百万円の減益)となりました。

当第3四半期連結累計期間における各セグメントの業績は、次のとおりであります。

鉄鋼につきましては、主原料であるスクラップ価格が安定して推移し前年同期比で下落しましたが、鋼材販売価格の下落や設備トラブルの影響によるコストアップ、棚卸資産評価差などにより減収減益となりました。なお、設備トラブルについては10月上旬に実施した対策工事が完了し、その後は安定操業を続けております。これらの結果、売上高は1,361億7百万円(前年同期比32億11百万円減)、経常利益は90億30百万円(前年同期比17億72百万円の減益)となりました。

エンジニアリングにつきましては、前年同期に比べ海洋部門及び鋳機部門の受注が増加したことなどにより、売上高は13億75百万円(前年同期比1億24百万円増)、経常利益は46百万円(前年同期比72百万円の増益)となりました。

不動産につきましては、賃貸収入を中心に安定した収益を確保し、売上高は7億52百万円(前年同期比30百万円減)、経常利益は5億27百万円(前年同期比11百万円の増益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、1,501億8百万円となり、前連結会計年度末と比べ13億21百万円増加しました。これは主として、原材料及び貯蔵品の増加によるものであります。

負債については、486億40百万円となり、前連結会計年度末と比べ32億87百万円減少しました。これは主として、未払法人税等の減少によるものであります。

純資産については、1,014億67百万円となり、前連結会計年度末と比べ46億8百万円増加しました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、ロシアのウクライナ侵攻の長期化や中東情勢悪化などの地政学リスクに伴うエネルギー価格の高止まり、中国の経済・鉄鋼需要などの悪化リスクが懸念されます。また、物価・人件費の上昇や人手不足による生産活動への影響など当面厳しい需要環境が続くものと思われまます。

このような環境のもとで、当社グループは中期経営計画の施策を着実に実行し、鋼材から加工品まで一貫した利益を高めつつ、適正な鋼材スプレッドの確保に努めてまいります。

以上の状況を踏まえ、2024年3月期の連結業績予想につきまして、売上高1,810億円、営業利益117億円、経常利益115億円、親会社株主に帰属する当期純利益77億円を見込んでおります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,775	16,929
受取手形、売掛金及び契約資産	35,908	32,966
電子記録債権	9,472	8,752
商品及び製品	16,705	16,443
仕掛品	5,632	5,638
原材料及び貯蔵品	12,465	14,871
その他	680	1,036
貸倒引当金	△57	△35
流動資産合計	97,582	96,603
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,770	7,094
機械及び装置（純額）	13,474	14,297
土地	22,992	22,605
その他（純額）	1,665	2,130
有形固定資産合計	44,903	46,127
無形固定資産	544	479
投資その他の資産		
投資有価証券	3,150	3,419
差入保証金	1,364	2,376
その他	1,283	1,142
貸倒引当金	△41	△40
投資その他の資産合計	5,756	6,897
固定資産合計	51,204	53,505
資産合計	148,787	150,108

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,577	21,702
電子記録債務	1,631	1,758
短期借入金	2,620	2,580
1年内償還予定の社債	27	-
未払金	1,726	2,218
未払費用	1,876	2,024
未払法人税等	3,270	1,046
賞与引当金	1,135	493
環境対策引当金	237	11
解体撤去引当金	41	39
その他	2,697	1,038
流動負債合計	35,842	32,914
固定負債		
長期借入金	7,629	7,200
繰延税金負債	2,985	3,078
再評価に係る繰延税金負債	1,001	1,001
環境対策引当金	233	232
解体撤去引当金	362	362
関係会社事業損失引当金	119	190
退職給付に係る負債	2,437	2,392
その他	1,314	1,266
固定負債合計	16,085	15,726
負債合計	51,927	48,640
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,044	20,044
資本剰余金	7,826	7,841
利益剰余金	66,179	70,509
自己株式	△775	△774
株主資本合計	93,274	97,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,213	1,499
繰延ヘッジ損益	0	△0
土地再評価差額金	2,421	2,393
退職給付に係る調整累計額	△49	△47
その他の包括利益累計額合計	3,585	3,845
純資産合計	96,859	101,467
負債純資産合計	148,787	150,108

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	141,353	138,235
売上原価	120,934	119,134
売上総利益	20,419	19,100
販売費及び一般管理費		
販売費	3,937	4,097
一般管理費	5,206	5,504
販売費及び一般管理費合計	9,144	9,601
営業利益	11,274	9,498
営業外収益		
受取利息	41	40
受取配当金	77	97
持分法による投資利益	137	115
その他	127	151
営業外収益合計	384	404
営業外費用		
支払利息	168	106
賃借料	111	103
その他	212	274
営業外費用合計	492	484
経常利益	11,166	9,418
特別利益		
固定資産売却益	4	556
その他	970	470
特別利益合計	975	1,027
特別損失		
固定資産除却損	532	967
その他	247	71
特別損失合計	779	1,039
税金等調整前四半期純利益	11,362	9,406
法人税、住民税及び事業税	3,684	2,916
法人税等調整額	△764	△32
法人税等合計	2,920	2,883
四半期純利益	8,442	6,522
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,442	6,522

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	8,442	6,522
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	87	286
繰延ヘッジ損益	△0	△0
退職給付に係る調整額	9	1
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	97	288
四半期包括利益	8,539	6,811
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,539	6,811
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	鉄鋼	エンジニア リング	不動産	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	139,319	1,250	—	140,569	—	140,569
その他の収益	—	—	783	783	—	783
外部顧客への売上高	139,319	1,250	783	141,353	—	141,353
セグメント間の内部売上高又は振替高	321	17	208	547	△547	—
計	139,640	1,267	992	141,900	△547	141,353
セグメント利益又は損失(△) (経常利益又は損失(△))	10,803	△26	516	11,293	△127	11,166

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	11,293
セグメント間取引消去	△1
全社営業外損益(注)	△125
四半期連結損益計算書の経常利益	11,166

(注)全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外収益と営業外費用の差額であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	鉄鋼	エンジニア リング	不動産	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	136,107	1,375	—	137,482	—	137,482
その他の収益	—	—	752	752	—	752
外部顧客への売上高	136,107	1,375	752	138,235	—	138,235
セグメント間の内部売上高又は振替高	155	50	324	530	△530	—
計	136,263	1,426	1,076	138,765	△530	138,235
セグメント利益 (経常利益)	9,030	46	527	9,604	△185	9,418

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	9,604
セグメント間取引消去	△4
全社営業外損益(注)	△181
四半期連結損益計算書の経常利益	9,418

(注)全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外収益と営業外費用の差額であります。